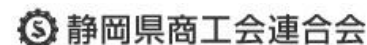


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年7月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年7月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年7月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【猛暑や物価高、人手不足の影響が続く中、製造業と建設業の業況DIに改善が見られ、全体の業況DIも前月比でやや好転したものの、依然として厳しい状況が続いている】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-27.6（前月-30.7、前年同月-15.2）で、前月比3.1pt好転した。猛暑や物価高騰、人手不足等の影響が続く中、製造業・建設業ではやや改善、小売業・サービス業は停滞傾向である。冷房機器や季節商品の需要が一部で見られるが、全体としては厳しい業況が続いている。

【製造業】

業況は-29.5（前月-35.2、前年同月-7.8）と前月に比べ5.7pt好転した。機械金属業では新規営業活動が進む他、食料品では一部回復の兆しが見られたが、原材料高騰や価格転嫁の困難、人材不足や米国関税措置の不透明感が要因で、依然として厳しい状況が続いている。

【建設業】

業況は-20.1（前月-28.6、前年同月-26.5）と前月に比べ8.5pt好転した。受注は確保できているものの、資材高騰や人手不足、熱中症対策義務化による現場負担が課題で作業効率低下による採算悪化が懸念される。

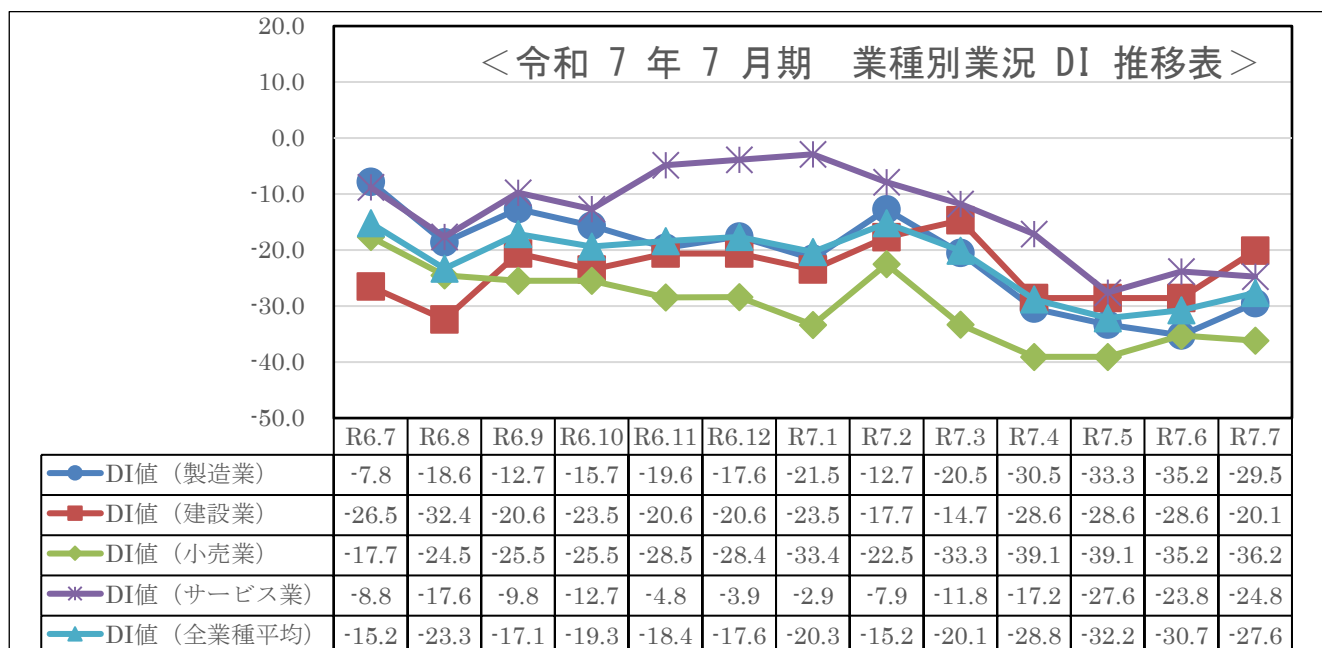
【小売業】

業況は-36.2（前月-35.2、前年同月-17.7）と前月に比べ1.0pt悪化した。物価高騰による消費抑制が続く中、冷房機器や季節商品に需要がある一方で、食料品では和洋菓子の売上低迷により資金繰りが悪化する事業者もあった。

【サービス業】

業況は-24.8（前月-23.8、前年同月-8.8）と前月に比べ1.0pt悪化した。猛暑や津波警報の影響で海水浴客が減少する一方、富士登山客や合宿等による宿泊需要の増加が見られる。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・仕入価格の高騰が続く一方、価格転嫁が難しく、厳しい経営状況が続いている。（伊豆）
- ・仕入価格や諸経費等は依然として高止まりしており、価格転嫁は一定の割合で実現できているものの、米国関税措置による影響が不安視されている。（富士駿東）
- ・食料品ではここ数カ月シラスが不漁であったが、今月に入り徐々に獲れ始めるようになり、シラス製品を製造できるようになった。（中部）
- ・繊維工業では同業他社の規模縮小により受注が増加するものの、従業員の採用が難しく、生産能力が不足しているため、全ての受注に対応できない状況である。（中東遠）
- ・自動車部品関連の機械金属業では、親会社の受注状況に売上が左右される体制から脱却を図るため、新規取引先の獲得に向けた営業活動に取り組んでいる。（西遠）

【建設業】

- ・暑さの影響で作業効率が低下している。さらに人手不足により外注先が見つからず、人材確保も難しいため、定年を迎えた作業員の再雇用をせざるを得ない状況である。（伊豆）
- ・依然として仕事量が多く、人手不足の解消も進んでいない状況である。また元請先の状況に応じて受注が安定していないという声もある。（富士駿東）
- ・6/1からの熱中症対策の義務化により、管理負担が大きくなっている。（中部）
- ・資材や経費が軒並み上昇しており、価格転嫁が難しく、採算が悪化傾向にある。（中東遠）
- ・住宅塗装業では、記録的な猛暑により日中は仕事ができず稼働率が下がっている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

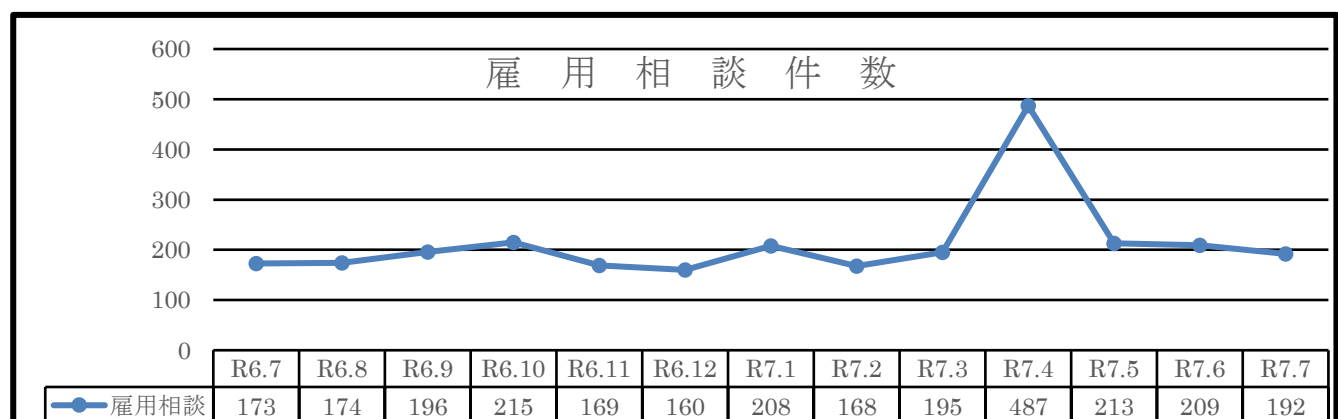
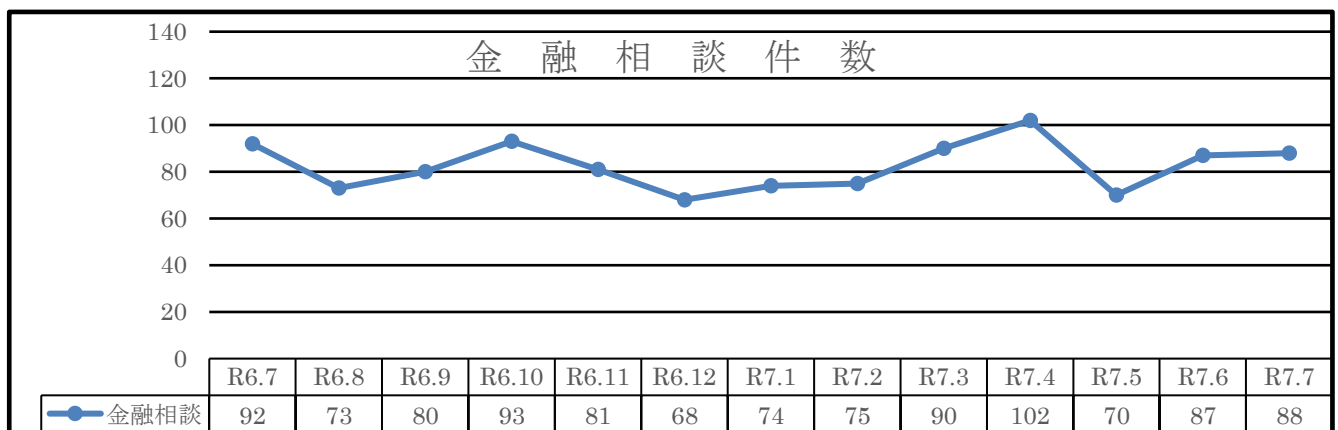
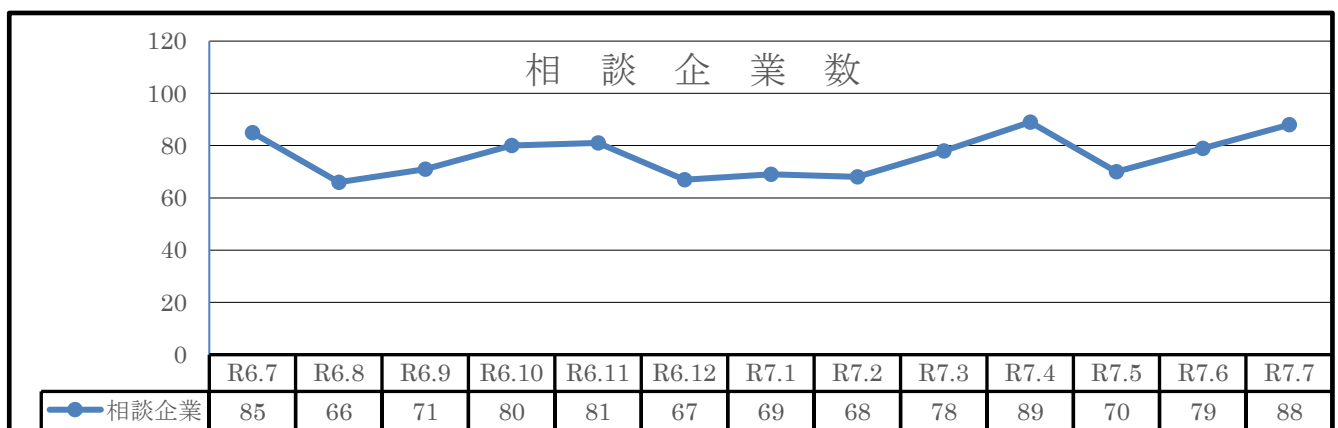
- ・衣料品では大手販売店やEC購入が増加し、町内販売店の消費者数は減少している。（伊豆）
- ・食料品では米不足の解消が進んでいるものの、価格が予想ほど下がらず、全体的な消費は鈍い状況である。（富士駿東）
- ・プレミアム付き商品券の販売により需要が喚起され、売上が増加した。（中部）
- ・耐久消費財では猛暑の影響により夏物家電の売れ行きが好調であり、エアコンの修理や取付け依頼も多い状況である。（中東遠）
- ・食料品ではかき氷やアイス等の涼しさを感じる商品は売れ行きが好調であるものの、和菓子や洋菓子の売れ行きが悪く、資金繰りの悪化に繋がっている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・津波警報により海水浴客が減少し、繁忙期を迎えるもキャンセル増加が懸念される。（伊豆）
- ・旅館業では富士登山客や合宿等で宿泊客が増加しており、特にインバウンド需要が増加傾向にある。（富士駿東）
- ・旅館業では猛暑の影響により客足が鈍くなっている。（中部）
- ・洗濯業では前月とほぼ同水準で推移している。（中東遠）
- ・理美容業では猛暑と物価高等の影響により、来店客数が前年で比減少している。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年7月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	88	79	9
【金融相談件数】	88	87	1
新規融資（借換えを除く）	58	58	0
既存債務の借換え	25	26	-1
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	1	-1
その他	4	2	2
【雇用相談件数】	192	209	-17



【金融相談】

金融相談件数は 88 件と前月(87 件)に比べ1件増加した。創業融資や運転資金に関する相談が増加しており、新型コロナ関連融資の返済開始に伴う資金繰り不安や、物価高騰による経費負担等を背景に、マル経融資の活用が広がっている。

<経営指導員コメント>

- ・創業融資に関する相談が多くあった。(伊豆)
- ・運転資金について既存債務の借換え相談があったが、協調融資のリスケジュールに関する内容であった。(富士駿東)
- ・マル経融資の利用が例年以上に増えており、一部では新型コロナ関連融資の据置期間終了に伴う運転資金の確保が目的であった。(中部)
- ・設備資金は営業車両の購入、運転資金は諸経費支払資金等に関する相談があった。(中東遠)
- ・物価高騰の影響等により運転資金の融資相談が増加傾向にある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、192 件と前月(209 件)に比べ 17 件減少した。人手不足や社会保険加入、助成金活用、就業規則整備等、多様な相談が寄せられている。

<経営指導員コメント>

- ・例年より雇用保険の被保険者資格取得・喪失等が少ない。(伊豆)
- ・依然として人手不足に関する相談が多く寄せられている。(富士駿東)
- ・個人事業主で従業員が 5 人未満であるが、従業員の確保のために社会保険に加入する事業者があった。(中部)
- ・賃上げに活用できる助成金に関する相談が多くあった。(中東遠)
- ・就業規則の作成に関する相談が増加傾向にある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・7/19(土)から土肥海水浴場・小土肥海水浴場が「海開き」を迎えた。(伊豆市)
- ・7/23(水)に土肥地区恒例の「大キャンプファイヤー」が開催された。(伊豆市)
- ・7/26(土)に「第 61 回富士山金太郎夏まつり」が開催された。(小山町)
- ・7/20(日)に「29th ビーチフェスタ in かんばら」が開催された。(静岡市清水)
- ・7/5(土)より町内在住の方に向けプレミアム付き商品券第 7 弾の発売を行った。(吉田町)
- ・市内のレジャー施設(海水浴場・キャンプ場等)は猛暑の影響で例年より客足が減少している。市内各所で開催されている花火大会や街歩きといった日没後のイベントにより、飲食関連の事業所では売上が増加している。(新居町)